

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

ニューイヤー美しく華麗な幕開け。

音楽をこよなく愛する人へ贈る、極上のひととき——

読響 常任指揮者

シルヴァン・カンブルラン

指揮 Conductor SYLVAIN CAMBRELING

ピアニスト ロジェ・ムラロ
Piano ROGER MURARO

コンサートマスター
ダニエル・ゲーデ
Concertmaster
DANIEL GAUDE



シューマン:「マンフレッド」序曲
SCHUMANN: Overture "Manfred"

シューマン:ピアノ協奏曲 イ短調 作品54
SCHUMANN: Piano Concerto in A minor, op.54

ラヴェル:高雅で感傷的なワルツ
RAVEL: Valses nobles et sentimentales

ラヴェル:スペイン狂詩曲
RAVEL: Rapsodie espagnole

1.7

1.8

1.9

読響日本交響楽団
第567回 サントリーホール名曲シリーズ
2014年1月7日(火) 19時開演
サントリーホール
S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥5,000 C ¥3,500
The 567th Suntory Hall Popular Series
Tue. 7. Jan. 7:00 p.m.
Suntory Hall

読響日本交響楽団
第5回 東京オペラシティ・プレミアムシリーズ
1月8日(水) 18時30分開演
東京オペラシティコンサートホール
S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000
The 5th Tokyo Opera City Premium Series
Wed. 8. Jan. 6:30 p.m.
Tokyo Opera City Concert Hall
18時30分から【ロジェ・ムラロ&読響メンバーの室内楽】を開催
出演: ロジェ・ムラロ(PF)、ダニエル・ゲーデ(Vn)、藤井洋子(Cd)

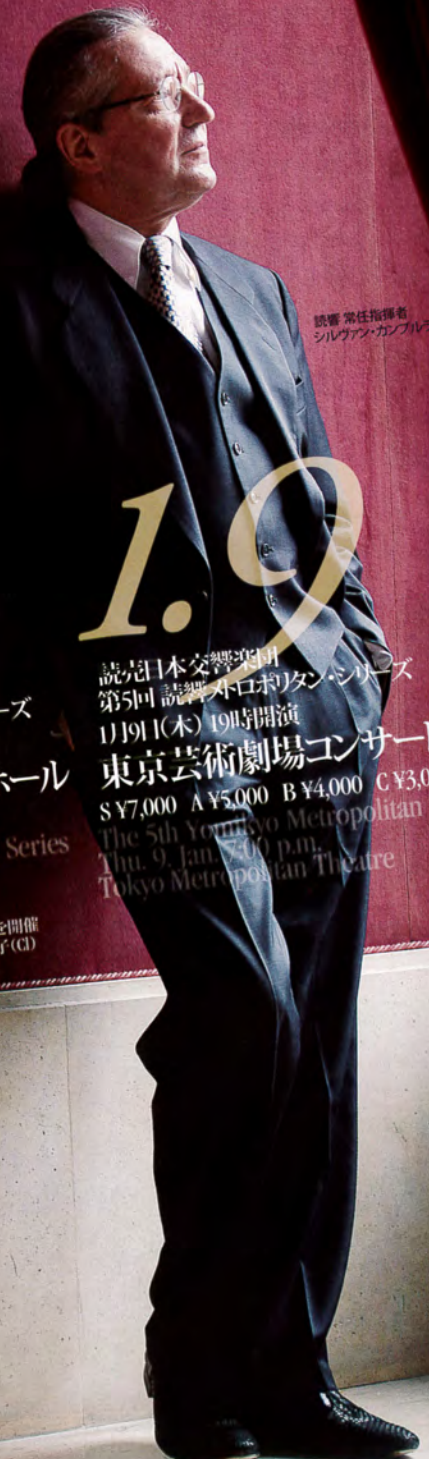
読響日本交響楽団
第5回 読響・外口ホリタン・シリーズ
1月9日(木) 19時開演
東京芸術劇場コンサートホール
S ¥7,000 A ¥5,000 B ¥4,000 C ¥3,000
The 5th Yomiuryo Metropolitan Series
Thu. 9. Jan. 7:00 p.m.
Tokyo Metropolitan Theatre

読響 常任指揮者
シルヴァン・カンブルラン

主催:読響新聞社、日本テレビ放送網、読響テレビ、読響日本交響楽団
助成: 委文化庁文化芸術振興補助金(読響テレビの制作費助成) 事業(1/7)
協賛: NTTコミュニケーションズ株式会社(1/8)
協力: AIRFRANCE エールフランス航空
事業提携: 東京芸術劇場(1/9)

お申し込み・お問い合わせ
読響チケットセンター 0570-00-4390
10時~18時(年末年始を除く)
http://yomikyo.or.jp/

プレイガイド: チケットぴあ、せと
サントリーホールチケットセンター(17公演分)
東京オペラシティチケットセンター(1/8公演分)
東京芸術劇場ボックスオフィス(1/9公演分)



カンブルランの《シューマン&ラヴェル》 華やかな美の追求

寺西基之(音楽評論家)

シルヴァン・カンブルランが常任指揮者に就任して以後、読響の作り出す音や響きの色彩感と精緻さは飛躍的に広がった。常に明晰さを保ちつつ、微妙な色合いの変化や響きの濃淡を生み出すカンブルランの魔術的なタクトによって、これまで読響が数々の名演を聴かせてきたことは改めていうまでもないだろう。

とりわけカンブルラン&読響の持ち味がいかんなく発揮されるのがフランス音楽や近現代の音楽である。その意味でも新年早々、まさにこのコンビにうってつけのラヴェルの作品がプログラムに組まれているのはうれしい限りで、カンブルランの手腕と読響の力量が存分に発揮されることになるに違いない。曲は「高雅で感傷的なワルツ」と「スペイン狂詩曲」。知的な優美さのうちに独特の官能性を感じさせる前者、スペインの雰囲気やヴェールをとおしたような響きのうちに表現した後者、これら対照的な2作品をカンブルランは巧緻に描き分けて、ラヴェルの多様な響きの世界を堪能させてくれるだろう。

一方プログラム前半はシューマンの〈マンフレッド〉序曲とロジェ・ムラロを独奏に迎えての〈ピアノ協奏曲イ短調〉。フランスでは、ドイツ系の演奏家による濃厚な幻想性を持った演奏とは趣のまったく違った、明晰さのうちにそこはかとなくポエティックな味わいを漂わせるようなシューマン演奏の伝統が培われてきたが、カンブルランのシューマンもそうした伝統の線上に、彼ならではの鋭い読みを加えた演奏を聴かせてくれるのではなかろうか。カンブルランとはしばしば共演して息の合ったところをみせている個性的な名手ムラロとの協奏曲も、両者の丁寧なやりとりが練り広げられる演奏になりそうでとても楽しみだ。



指揮 シルヴァン・カンブルラン
Conductor SYLVAIN CAMBRELING

1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から読響常任指揮者を務め、色彩豊かな音楽作りで日本の観客を魅了。読響との充実した活動は既に高い評価を得ている。現在、世界有数のオペラハウスであるシュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督を務めるほか、クララ・シューマン・ウィーンの前首席客演指揮者も兼任している。ベルギー王立モネ劇場、フランクフルト歌劇場の音楽監督、バーデン・バーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者を歴任。ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ミュンヘン・フィルなどの世界の一流オーケストラに客演するほか、ザルツブルク音楽祭、メトロポリタン・オペラ、パリ・オペラ座などでも活躍している。



ピアノ ロジェ・ムラロ
Piano ROGER MURARO

フランス生まれのピアノの名手。特に、メシアン・ピアノ作品全集が世界的に注目を集めメシアンの権威として高く評価されている。パリ音楽院でイヴォンヌ・ロリオ・メシアンに師事。1981年フランツ・リスト国際音楽コンクールで第1位、86年チャイコフスキー国際音楽コンクール入賞。これまでに、メータ、ゲルギエフ、バレンボイムなどの指揮者、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン・フィル、ミラノ・スカラ座管などの一流オーケストラと共演。2006年12月にメシアン(トゥランガリア交響曲)で読響と初共演。東日本大震災直後の11年4月にもカンブルランの指揮でラヴェルのピアノ協奏曲2曲を披露し、圧倒的な演奏で聴衆を惹きつけた。

- 学生券：学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
- 団体割引：読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。
- 都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場は、固くお断りいたします。



SEAMLESS CLOUD FOR THE WORLD

160カ国/地域のカバレッジを持つグローバルネットワーク。
世界に広がる140拠点を超えるデータセンター。
高品質・高信頼のインフラストラクチャーに支えられ、
世界に先駆けてネットワークの仮想化技術(SDN)を採用した、
通信事業者ならではのクラウドサービス。
このクラウドが、企業の皆さまのICT環境を、
グローバルに、セキュアに、最適化します。
コストを下げながら、ビジネススピードを加速させる。
経営改革を、私たちのクラウドで。

Expand your business globally. Go to ntt.com

- [Asia Communication Awards 2013]
(Total Telecom社2013年6月20日発表)において、
[Wholesale Operator of The Year]を受賞しました。
- [Telecom Asia Awards 2013]において、
[Best Asian Telecom Carrier]と
[Best Cloud-Based Service]を受賞しました。
- [第7回クラウドランキング]
(日経コンピュータ2013年10月17日号掲載)において、
[ベストブランド] [ベストサービス(5部門)]に選出されました。
- [2013 Frost & Sullivan Japan Excellence Awards]
(Frost & Sullivan社2013年6月26日発表)において、
[Data Center Service Provider of the Year]を受賞しました。
- [第1回ビジネスクラウド総合評価調査]
(MMI総研2013年2月19日発表)において、
総合評価「AAA」の格付けの中で、第1位に選出されました。

